

1. 件名：「泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（158）」

2. 日時：令和5年4月19日(水) 13時30分～14時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、鈴木安全審査専門職

北海道電力株式会社：松村執行役員 他8名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・ 泊発電所3号炉 基準地震動の策定について

時間	自動文字起こし結果
00:00:02	規制庁谷ですヒアリングを始めます。今日のヒアリングの案件としては泊発電所3号炉の基準地震動の策定ということで、
00:00:10	今日の資料、4月19日の資料、
00:00:15	で行いたいと思います。
00:00:18	まず資料の説明のほうを、前回から変わったところを中心に、簡潔に説明していただきですか。
00:00:28	北海道電力の松村です本日のヒアリングよろしく願いいたします。
00:00:34	前回のヒアリング等々を踏まえて修正をして参りましたので、
00:00:38	修正点中心に説明いたします。説明時間10分から15分ぐらいを見込んでおります。説明は高橋からです。よろしく願いいたします。
00:00:49	はい。北海道電力の高橋です。基準地震動の策定について、前回ヒアリング資料からの変更点を中心にご説明させていただきます。6ページをお願いいたします。
00:01:02	こちら断層モデルを用いた手法による基準地震動策定の、今回評価における基本的な考え方について、右側ですね右側の上の表になりますけれどもそちらの方二つ目の矢羽根の部分。
00:01:16	ステップ2に該当する基本的な考え方につきまして、尻別川や遠藤など、ステップ2で基準地震動を策定、設定しない場合もございますので、
00:01:26	地震動レベルを確認し、施設に影響を与える可能性がある場合には、基準地震動として設定するという事で記載のほうを修正してございます。
00:01:36	また、今回の大瀬選定方法のSTEPに表で言いますと右側、中段になりますけれども、そちらの選定基準につきまして、
00:01:47	前回ヒアリングを踏まえまして基準地震動Ssを上回る周期体、これを着目する周期体としてございますけれども、この着目する周期体の3方向で地震動レベルが大きい地震動、こちらを基準地震動に設定すると。
00:02:02	の記載に変更してございます。
00:02:04	また、着目する周期体がSs万を上回る周期体であることがわかるように、記載の方修正してございます。
00:02:12	その他に、第1117回会合における選定方法の記載につきまして、表で言いますと左側中段側になりますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:23	こちらの記載につきまして、わかりやすさ、読みやすさの観点から、一部文言のほうを修正してございます。
00:02:29	7ページをお願いいたします。
00:02:33	先ほどの今回評価の選定方法ということで、6ページの方で修正したステップ2の記載の修正に合わせまして、尻別川及び遠藤断層で、今回評価で基準地震動として設定しないケース、こちらの選定しない理由ですね。
00:02:50	そちらの方について修文してございます。
00:02:53	また、右下箱書きの二つ目の丸、こちらの記載につきましても、同様に修文してございます。8ページをお願いいたします。
00:03:04	6ページの今回評価における基本的な考え方、こちらの修文に合わせまして、下の箱書き四つ目の矢羽根になりますけれども、そちらの記載のほう、修正してございます。
00:03:16	12ページをお願いいたします。
00:03:20	こちら、基準地震動設定フローのうち、ステップ2の記載につきまして6ページの記載に合わせまして、修正してございます。
00:03:29	また、下の箱書き、二つ目の矢羽根の記載ですけれども、こちらにつきましても、6ページの記載に合わせて修正してございます。
00:03:38	18ページをお願いいたします。
00:03:43	各検討用地震ごとのステップ2におけます基準地震動設定の結果、そちらの概要となりますけれども、こちらにつきましてもステップ2の記載を、6ページに合わせて修正してございます。
00:03:57	また、検討用地震ごとの着目する周期体、こちらが明確になるように、注釈を追記してございます。
00:04:05	18ページの尻別川断層でテストをSsは上回る周期、上回る約1秒から約5秒ということ。20ページの連動断層も同様に、基準地震動Ssワンを上回る約1秒から5秒。
00:04:21	22ページの積丹ですと、Ss案を上回る0.14から約0.4秒、さらに、約1秒から約3秒としてございます。
00:04:32	なお、これらの着目する周期体に関する記載につきましては、後段の検討結果の詳細の部分についても、修正を実施してございますので、こちらにつきましても後程ご説明させていただきます。
00:04:46	22ページをお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:50	積丹のステップ2における、基準地震動設定結果の概要となりますけれども、STEP2において追加で設定してございます Ss-2 の 14 から 16、こちらの選定理由について、
00:05:03	6 ページの選定方法の記載の修正に合わせてこちらも修正してございます。
00:05:08	具体的には、Ss2 の 14 から 16 につきまして、それぞれどの方向で地震動レベルが大きくなっているかということに記載してございまして、記載箇所につきましては右下箱書きの
00:05:21	部分になってございます。
00:05:24	傾斜角、破壊開始点 2 につきましては、NSEWUD 方向の長周期側、
00:05:30	破壊化して 3 及び 4 につきましては、N-SUD 方向の長周期側で地震動レベルが大きいということに記載してございます。
00:05:39	24 ページをお願いいたします。
00:05:44	基準地震動の設定結果のまとめとなっております。こちら妥当性確認結果と、表のケースがリンクできますように、該当ページを追記してございます。
00:05:55	また、積丹の層厚 40 度ケースの Ss-2 の 14 から 16、こちらにつきましては、先ほど 22 ページの選定理由と合わせまして、備考欄の記載を修正してございます。
00:06:07	さらに、FP2 断層を含めました地震動評価結果の総数から基準地震動がどのように設定されているか、体系的にお示しするために、
00:06:17	右下の表の記載を、FB2 断層を含めました総数からの記載に変更してございます。
00:06:24	なお、FB2 断層につきましてはすべての地震動評価結果が Ss はに包絡され、されておりますけれども、それらの検討結果を 34 ページに追加しております。
00:06:35	そちらについてご説明させていただきます。
00:06:37	まずは 33 ページをお願いいたします。
00:06:43	先ほどご説明した通り、地震動評価結果の総数から基準地震動設定に至るまでを体系的に表見にまとめておりましたが、その中で、エスワンを上回るケースとしまして、39 ケースあることを確認してございます。
00:06:58	それらにつきましては 33 ページに、検討用地震ごとの地震動の特徴としてまとめてございまして、さらに 34 ページにその検討結果をお示ししてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:07:09	34 ページをお願いいたします。
00:07:13	こちらは前回会合でもお示ししておりますけれども、応答スペクトル図となりますが、Esワンを上回るケースは 39 ケースございまして、青色で示しました FB2 断層につきましては、清諏訪に包絡されているのを確認してございます。
00:07:28	35 ページをお願いいたします。
00:07:34	今回の評価におきまして、着目する周期体、こちらを基準地震動 Ss ワンを上回る周期体として、明記してございます。
00:07:42	ここでは、検討用地震ごとに着目する周期体をどのように設定しているかを明記してございます。
00:07:49	具体的には、尻別川と連動が遠藤断層につきましては長周期側を、積丹につきましては、短周期側と長周期側、こちらを着目する周期と、
00:08:00	することを明記してございます。
00:08:03	最後に、妥当性確認の記載内容の変更点をご説明させていただきます。50 ページをお願いいたします。
00:08:14	こちら、尻別川断層の妥当性確認の 1 例となっております。妥当性確認の結果につきましては、大きく三つの確認結果に分けられます。
00:08:24	一つ目が、50 ページにお示した通り、着目する周期体で基準地震動として設定した方の地震動レベルが大きくなっているケースとなります。
00:08:34	こちらにつきましては着目する収益の 3 方向で地震動レベルが上回っていること、さらには、Ss 案を上回る部分につきましては、基準地震動で包絡されていることから、
00:08:46	それ以外のケースを基準地震動として設定して、しない旨の記載に、統一してございます。
00:08:54	54 ページをお願いいたします。
00:08:58	続いて二つ目のケースとしまして、Ss 湾を下回るレベルではあるものの、着目する周期体で、基準地震動として設定していない方の応答スペクトルが一部で上回っているケース、こちらの記載内容についてでございます。
00:09:13	54 ページを例としますと、NS 方向の長周期側 5 秒前後で、Ss 案を下回っておりますけれども、基準地震動 Ss2-1 をその他のケース、黄緑線になりますけれどもそちらが上回っているというケースでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:09:28	これらのケースの妥当性確認結果としまして、まず AEW、UD 方向、こちらの 2 方向につきましては、着目する周期体で、Ss2-1 の地震動レベルが上回っていること。
00:09:41	さらには、Ss ワン上回る部分については包絡していることとの旨、記載させていただきます。
00:09:48	また、NS 方向につきましては、Ss 案を下回っている部分で一部逆転しているものの、着目する周期体全体での地震動レベルにつきましては、基準地震動の方が大きいと記載させていただいております。
00:10:01	以上を踏まえまして、着目する周期体の 3 方向で、概ね地震動レベルが大きいことから、その他のケースにつきましては、基準地震動に設定しないこととしてございます。
00:10:12	72、3 ページをお願いいたします。
00:10:17	最後に、三つ目のケースとして、着目する周期の Ss 湾を上回る部分の一部で基準地震動として設定していない方の応答スペクトルが上回っているケースの記載内容についてでございます。
00:10:31	73 ページを例としますと、NS 方向の長周期側の SS 湾を上回っている 1 部分で、その他のケースであります黒線が、青線で示しました Ss-2-3 を一部で上回ってございます。
00:10:46	これらのケースの妥当性確認結果としまして、まず EWUD 方向につきましては、着目する周期体で S2-1 の地震動レベル、レベルが上回っていること。
00:10:57	さらには、Ss 案を上回る部分については包絡していることと記載させていただきます。
00:11:03	また、NS 方向につきましては、一部で、応答スペクトルが逆転しているものの、着目する周期体全体での地震動レベルは、基準地震動の方が大きく、
00:11:14	地震動評価結果全体、さらには、検討用地震ごとに見た場合でも、この着目する周期体で最大の応答スペクトルとなる地震動ではないということ、
00:11:24	記載させていただいております。
00:11:27	以上を踏まえまして、着目する周期体の 3 方向で、概ね地震動レベルが大きいことから、その他のケースにつきましては、基準地震動に設定しないこととしてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:11:38	妥当性の確認結果につきましては、基本のご説明した三つのパターンで確認結果を記載してございます。その他のページにつきましては、後程ご確認いただければと思います。
00:11:51	変更点のご説明については以上となります。
00:12:01	説明も、全体の説明以上。
00:12:03	はい。
00:12:06	谷ですそれでは内容の確認に入っていきたいと思います。
00:12:12	これあれですよね前回ヒアリング等、特に考え方を変えてるわけじゃなくって、前回会合で説明していた内容を、
00:12:21	しっかりと資料に落とし込んだと、そういった感じで作ってるってことですね。
00:12:28	なので全体を通してですね、確認をしていきたいと思います。今回とはいえ、着目種する周期体っていうのを、
00:12:41	はっきりさせたとはいつつ、
00:12:45	若干これ、
00:12:48	も変えてるんですね着目する周期体ってもともともう少し余裕を持って書いてたのが、
00:12:56	狭めてる。
00:12:59	ていうことでいいんですかねこれはあれなんですかも、
00:13:02	Ss1 を上回る周期と全く一緒にしてるってことでいいんですか。
00:13:10	はい。北海道電力の高橋でございます。着目する周期につきましては Ss 基準地震動 Ss ワンを上回る周期体ということで今回明記させていただきまして、
00:13:21	絵のほうですね、応答スペクトル図等に入っている絵のほうも修正させていただいてるという形になってございます。以上となります。
00:13:30	はいたんです。はい、わかりましたもうイコールですね Ss1 を上回る範囲。
00:13:36	イコール、着目する周期体ってことでいいですね。はい。
00:13:39	さっき何か着目する周期体をより明確に書きましたって言うてはいるんだけど、
00:13:48	何かこの役っていう言葉ですかね。
00:13:52	約、
00:13:56	いやこういう言い方でいいのかもしれないですけど、
00:14:00	どこだったかな。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:14:09	例えば、
00:14:13	fs 中のところなんでしたっけ、例えば、
00:14:17	20 ページ 21 ページ、これや、約 1 秒。
00:14:22	て言ってるけど、何か絵を見たら、これ約本当 1 秒なんですかねっていうのが、何か、しっかりと書きましたと言いつつ、何かこう言葉と絵が、
00:14:34	合っていないような気もするんですけども。
00:14:38	このや、約 1 秒と言いつつ、大体約 2 秒。
00:14:42	にひょっとしたら近いのかもしれないとかその辺はどういう考えなんですか。
00:14:50	はい。北海道電力の高橋でございます。今回、約 1 秒と記載させていただいてますけれども、実際、Ss 版を超えているところに着目する周期ということで考えてございます。
00:15:02	ただし資料の方につきましては宮スタッフ観点というところもありますので、役という形で表現させていただいているところでございます。
00:15:19	すいません北海道電力野尻です今の、例えば 21 ページで言った時に頭を超えて成長を超えてる、短い側で言うと 1. 数秒、多分 6 秒 7 秒とかそういうあたりになっていて、
00:15:33	それに対して今、資料上は、八尋目の約 1 秒っていうことで、後はもう、
00:15:39	例えば 4.3 秒であれば、5 秒っていうような書き方に今、約 0 秒というように整理を今しているものになります。
00:15:50	はい、えっと、
00:15:54	それが正確かどうかっていうのは規制庁名倉です。それ正確に書いた方がいいんじゃないですか。
00:16:00	1. 何秒で範囲を図示してるのであれば、
00:16:04	文章のところも約 1 秒って書いてるけど、それをちゃんと書いた方が、超える周期対、
00:16:10	のところに着目する周期体として、
00:16:13	見るのであればこういう周期体を細かく表表記して、いや、アバウトに表記するんだったら、幅を持って表記するんだったらちゃんとそう書いた上で相撲を一致させた方がいいし、
00:16:25	どっちかに統一してください。
00:16:28	約 1 秒から約 300 たら 1 秒から 3 秒まで引っ張る。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:16:32	それよりもっと短い範囲で引っ張ってるんだったら、約 1. 何秒から何秒まで。
00:16:37	いうふうに、いずれにしてもどっちかに統一して書いた方がずっと、
00:16:42	文章は一致してる状態にした方がいいかなと迷わない。
00:16:47	見てる人がということで、すみませんそそういうふうにしていただければと、大半一応そういうふうな形でしてもらった方がいいかなと思ったんですいません。
00:16:56	はい北海道電力野末です。そうですね資料の図で書いてるものと、文章で 200 何秒って書いてるのが整合してみても、見た目で差がないというような形に修正させていただきます。何点何秒っていう方に、
00:17:09	書くということで直しますはい。
00:17:13	はい。お願いします。
00:17:16	あとはですねもう結構言葉じりとか体裁とかの話になっていくんですけども、
00:17:22	まず 1 個お願いしたいのが 7 ページにですね。
00:17:28	これ前回介護からの変更っていうことで、
00:17:32	年尻別川の断層の、
00:17:36	これ外しましたようっていうやつありますよね。
00:17:40	藤力降下量の破壊開始点 4。
00:17:43	のパターン、或いは fs 中の、
00:17:46	応力開始会、応力降下量の破壊開始点 1 の、これって、
00:17:51	何か資料見ても、
00:17:54	結局選んだ基準地震動との関係がよく
00:18:00	うちは見えるのか。
00:18:02	尻別川見えるのか。
00:18:03	何か基準地震動を選んだものとの、
00:18:10	fs 中の方とかは、
00:18:13	選んでいるものところこの関係はどうなってるのかとか、ちょっと補足でもいいので、
00:18:22	ちょっとつけて欲しいなというふうに思いますけど、いいですかね。
00:18:33	はい。北海道電力野地です。今おっしゃられてるので言うと尻別川については一対一の比較のところと、見ればわかるということで、
00:18:45	いいと。ただ、
00:18:47	ENDF 中から岩内堆南方背斜の方だと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:18:51	この文章で書いてるところと、後ろの図がうまく整合
00:18:56	しないように見えるというところですね、それに対応する。
00:19:01	資料でいうと、
00:19:06	ぴぴっと 76 ページ。
00:19:12	76 ページの、
00:19:15	ところが今回辞めたものの、応力降下量の破壊開始で一番、
00:19:20	の話を書いてるところなんでそこ。
00:19:22	の書きぶりを、
00:19:24	この概要 7 ページの方にも少し入れて、最後に入れてとか、
00:19:29	ページを引っ張るとかそういうような整理をさせていただくということ でよろしいですか。
00:19:36	うんは井谷です。根井、どっちかというと、
00:19:39	FSG の方は何か 2 個選んでるじゃないですか。ここを選んだとの関係はど うなってるのかなとかいうのが、
00:19:47	見えてきたら、わかりやすいなとこう Ss として、今回しなかったの は、
00:19:54	確かこういう関係なんだなっていうのか、みたいになって思って今コメン トしてるんですけど。
00:20:03	はい。北海道電力野地ですわかりました
00:20:07	スペクトル図的に言うと多分 69 ページとか 70。
00:20:12	美術家 70 ページ辺りですね 5 個選ん 6970 で書いてるようなところにな るんですけどそれをちょっと文章で選んだものに対して最大には最大の ものにはならないっていうんですかねそれを上回らないとかいうところ を、
00:20:27	7 ページの概要の方に入れるようなことで、
00:20:31	したいと思います。そうですね。
00:20:33	というのがこれ、前はこの一対一で比較してる中で、やっぱり選ばれて たようなものなんですよ。
00:20:42	結局それを一対一でまた説明するんじゃなくて、基準地震動として は、選んだの五つあってそれとの関係ではこうなってますっていうのを 最後につけてもらえたらいいなって思ってるのと、
00:20:56	あとここやっぱり前回と変えてるところはしっかり説明して欲しくて、
00:21:04	その説明って多分 7 ページのこの備考を見るのが一番いいんですよ。 そうじゃなくて他にも何か、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:21:12	ここ見てくださいますかというのがあるんですか。
00:21:14	はい北海道電力野尻です。そうですね前回会合 2 月 24 会合からの変更で落としてるものについては 7 ページの文章になってましてそれ以外の、この資料の方については基本的に今回の選び方の中で選んでいってプロセスを、
00:21:30	書いてますんで、この連動のところ fs 中からの断層については、
00:21:34	もうこの概要のところでは今書いてないところになります。うん。ね そうだとしたらね、やっぱりこの備考のところもうちょっとちゃんと書いて欲しくて、
00:21:46	前回こうしていた、今回評価において高評価替えたから、今回は、
00:21:53	設定しない。
00:21:59	ていうことが書いてるんですけど。
00:22:03	評価を変えたことによって 3 方向で他のケースより、
00:22:09	地震動レベルが小さいことから、
00:22:14	て言ってるんだけど、だから何なんだろうかっていうところがあって、だから、
00:22:20	何か施設への影響が、
00:22:23	小さいと判断したんですかね。
00:22:26	何かその辺がこう、
00:22:30	前回と変えたことによって選ばなくてよかったんよ、要因ですっていうだけでは、ちょっと何かね。
00:22:39	うん何か説明になってない気がして、
00:22:43	うん。
00:22:45	前回の選び方やってやったら相変わらずこう選べる。
00:22:49	でもなんか、ちゃんと施設との関係を考えてら選ばなくて良くなったってことであれば、何かそういうふうな書き方を、
00:22:58	した方がいいのかなというのを思っただけでもうちょっとこれ、
00:23:04	北電の持っていることをちゃんと書いたらどうかなと思うんですけどどうですか。はい。
00:23:12	北海道電力の清です。今おっしゃられているところでいうとあと 7 ページの備考ですねの書きぶりで、今回評価において着目する試験 3 方向で地震動レベルが小さいことから、
00:23:25	ていう、なので、施設への影響が、
00:23:30	大きいものとはならないというところの考えを入れるってということと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:23:34	3方向での地震動レベルが小さいってところの根拠となる。
00:23:39	図なりっていう、それが今回、選んだ五つに対してそれよりも小さいんでってということになりますんでそこがわかるような紐づけをしっかりとすることをまずさせていただきます。
00:23:52	は井谷です。ぜひこの辺の説明はしっかりして欲しいなと思いました。谷さんちょっと1個、聞いていいですか。
00:24:01	規制庁の名倉です。
00:24:04	7ページの、
00:24:06	尻別川断層のところの応力降下量、破壊開始点4で、
00:24:12	瀬1001117回審査会合で基準地震動として選定したものを今回、
00:24:21	選定しなかったというところの理由が備考欄に書いてあるというふうには、
00:24:26	解釈しているんですが、
00:24:28	この文章が意味してるところが、
00:24:33	実は、具体的なページとして、
00:24:37	24ページのところにを見ると、64ページ見なさいと書いてあって、
00:24:42	64ページを見たときに、
00:24:46	この理由で書いてあることなんで、1117回では、これを採用したのかっていうこの説明が、64ページの図を見ても、
00:24:56	ちょっとにわかにはわからないんですが、ちょっとこれを1回説明してもらえませんか。
00:25:02	まずはちょっと理解したい。
00:25:04	何で1117回で、
00:25:06	これを採用したのかっていうところ。
00:25:11	それとあとそれと最終的にちょっと説明していただきたいのは、逆に今回設定しなかったこと、
00:25:17	その理由、それを64ページを使って説明してもらえませんか。
00:25:23	はい。北海道電力の高橋でございます。尻別川断層の応力降下量4番につきましてですが、前回会合におきましては尻別川断層を、まず二つの分類に分けて
00:25:39	基準地震動の方を設定していく。
00:25:41	その分類分けにつきましては、着目する周期体以外も含め、含みまして全体周期をMIMASで、傾向を見ながら分類をかけていったと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:25:52	いうところになってございます。従いまして、分類をした後のグループの中から、地震動レベル、着目する周期体の地震動レベルが大きいものとして、
00:26:05	応力降下量の破壊開始点 4 というものが選ばれたという形になってございます。ただし、今回、評価におきましては着目する周期体に特化して、今回基準地震動の方設定して行っておりますので、
00:26:19	分類自体を実施していないということ。従いまして検討用地震の尻別川ですね、の全体の中で、まず見てあげてその中で着目する周期体であります長周期側で大きいものとして、まずは赤線の 2-1 が選ばれていると。
00:26:37	いう形になってございます。
00:26:39	従いまして今回は、分類かけてないというところから、この青線については、選定されていないという形になってございます。
00:26:56	谷ですけど、何かそういう説明を聞くとね。
00:27:00	やり方がこう、こういう場合はこんなのが選ばれるんだけどこういう場合だったら選ばれなくなるとか、そのやり方の議論になってしまって、前は前で北海道電力としてはやり方としては正しいと思ってやって、
00:27:13	いたところで、実はこういうところをちゃんと着目、こういうことを着目は何なんなんという着目することを明確化したりとか、
00:27:23	何かこうする方がいいんだと。そうすることによって、ちゃんと北海道電力を持ってるような施設への影響がの観点とかで選べるんだとか、そういうこうなんで、
00:27:34	何で今回のやりの方が正しいのかっていうような、そういったものを考えがですね、何か資料からあまり見てとれなくて、そもそも我々としてもここの地震動というのを、
00:27:47	確かに包絡
00:27:49	何て言うんですかね、この大きな周期体のところでは、
00:27:53	地震動が大きくなるような周期体のところでは
00:27:57	SS ニノイチの方が勝ってるなあとか思っただけなんですけれども、やり方変えることによって、
00:28:03	変わったんですとかって言われてもなかなか説明性はよろしくないと思っておりますよ。
00:28:12	はい北海道電力の充実すいません若干補足的に言いますと 64 ページで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:28:18	言いますと、前は赤も青も基準地震動にしていたと。先ほど言ったようにプロセス作業としては、カトウト違うグルーピングにしてそれぞれ、
00:28:29	大きいか、その長周期側で大きいんで選びましたっていうことが前回でしたけどその心はというのがこの青、
00:28:36	赤赤に対してコンマ3秒4秒5秒。
00:28:41	辺りですね、Dと田子の方が大きいケースがあったとこれが大きな、
00:28:45	二つの分類するところのポイントになっていたと。ここをポイントとしてケースというものを選んであと長周期で大きいケースっていうことで選んでいました。
00:28:55	ただ前回の会合のご指摘も踏まえて今一度施設影響という観点で考えた時に我々としてはやはりSs1を上回るところ、
00:29:06	が当然施設影響の大きい周期体になるということになりますんで、今回で言うところの比較の中でいうと赤を選ぶことで、影響はカバーできるだろうと。一方で前回選んでいたその中周期というのはコンマ
00:29:19	数秒のところの影響影響についてはSs1を基準地震動としてもうすでに考慮しておりますんでそちらの影響の方でカバーできると。
00:29:26	いうところで今回、赤より若干上回ってますけどその影響を考慮。
00:29:31	しなくても良いということで、今回は赤だけにしたというものになります。以上です。
00:29:37	は、規制庁がなくなるです。
00:29:40	なんか、そういう意味では7ページに書いてある理由がですね。
00:29:46	分類するしないとかっていうことに着目すれば今説明を受けたような、
00:29:53	要は着目する周期体以外の周期体。
00:29:56	短周期の方で少し特徴的なピークがあるのでそれを考慮してやったんだけれども、
00:30:04	そもそも施設への影響の観点では、
00:30:08	短周期がもっと支配的なものを選定されているので、
00:30:14	施設への影響の観点では問題ないものとして今回を削除した。
00:30:19	とか、そういう意味で、もう少し、何て言うのかな、実情に応じたリーズナブルな理由を簡潔に述べた方が、
00:30:28	資料としてはわかりやすい。
00:30:30	かなと思いました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:30:32	はい。北海道電力野末です。多分今名倉さんおっしゃられたので、谷さん先ほどおっしゃられたところで作業としてやったことで前回と今回変えたから、違うんですってということではなくて実態の施設影響という観点でどう、前回思ってた今回変えたのかっていうところですね。で、
00:30:48	前回やってたものがちょっと正直広げ過ぎていたというのが実態になりますんでそこはしっかり設置したということで、また書き直させていただきます。
00:31:03	はい。谷ですよろしくお願いします。
00:31:06	あとはですね。
00:31:08	ちょっと言葉じりの話になってしまうんですけどもう、例えば6ページで、基本的な考え方って書いてて、
00:31:18	また以降なんですけれども、最後ね、施設に影響を与える可能性がある場合には基準地震動として設定する。
00:31:29	いう話をしてるんですけどこれは高でこのままでいいかなっていうのをちょっと考えて欲しくて、
00:31:37	これやっぱり施設に、
00:31:39	影響を与える可能性があるっていうのはあんまりこうはっきり言えなくて、大きな影響があるかどうかとか、そういうことを言ってるんじゃないのかなと思って。
00:31:50	て、或いはだからやってることってのは相対的に大きなものを選んではとかそういう話だと思うので、
00:31:56	これ何か施設に、
00:31:58	何かもう一つ大きなところっていうのが、こう入れるっていうのが北海道電力の考え方なのかもしれないなとか思ったりして読んでるんですけど。
00:32:08	どうなんですかねこれはちょっと。
00:32:10	言葉足らずの気もするんですよ。
00:32:18	はい北海道電力野尻です。そうですね
00:32:22	基本的な考えとしてまず Ss 以上を超えるもので影響が大きいものを拾いますと、
00:32:28	次に3方向を見て同時入力なんかの影響があり得るものっていうのをちょっと1段下げるという意味で施設に影響を与える可能性があるというちょっと使い分けをしていて、
00:32:39	多分今谷さんおっしゃられた通り

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:32:41	施設に影響するっていう、出しちゃうと何でもあるんじゃないかっていう話だとすると我々としてはそういう意味ではなくて施設に与える影響が大きい可能性がある。
00:32:50	で影響が大きいものと、ちょっと比1段下げたいという表現でこうしてるんですけどそれが逆効果になる。
00:32:57	というかはっきりしないというのだとすると大きい可能性があるとかってということで、施設影響が大きいものと大きい可能性がありうるものっていうようなちょっと仕分けの方が、
00:33:07	いいのかなということで、今、考えました。はい。
00:33:13	はい、えっと、それで1個目は大きい可能性があるでいいですか、1個目の矢羽根の。
00:33:21	そうですね設営急増。
00:33:23	大きい可能性があるというのがもともと一つ目の矢羽根ですと、二つ目はその1段下げるがために大きい可能性があるより一つ下げるために施設に影響を与える可能性があるっていうふうに言いまして、
00:33:37	おります。
00:33:41	のって、ただし上場は一つ目のところ今施設影響が大きい地震動という、どちらかというとなんかそういう言い方にはなってるんで可能性ってあんまり使って、
00:33:54	なのでちょっと仕分けとしては一つ目の矢羽根が施設影響が大きい地震動で二つ目について大きい可能性がある地震動っていうような整理でちょっと一通り、またちょっと整理させていただきます基本的にやってることは変わらないんですが、表現としてはそういう方向にしたいと。
00:34:09	でその大きい、大きいっていうのがこの基本的な考え方に今入ってないですよ。
00:34:15	ステップ1年選定方法で入ってるんですけど、
00:34:20	その辺をはっきり書いた方がいいんじゃないですかその考え方っていうのはこうなんですよっていう。
00:34:30	はい、そうですね北海道電力野尻です8ページでいうと多分二つ目の矢羽根の辺りに施設に気を与える。
00:34:38	影響は施設に与える影響を考慮してっていう辺りの気持ちだったんですけど確かにちょっと表現が、施設に影響が大きいというのが入ってたり入ってなかったりというところになってますんで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:34:49	あそこは我々の考えとしては、非選ぶものは施設影響が大きいものって いうことなんでそこはわかるように 8 ページのほうも記載の方は、
00:34:58	合わせたいと思います。
00:35:03	入ったんです。
00:35:06	そうですねその辺ははっきりわかるようにして欲しいなと 7 ページこれ本 当細かいことなんですけど。
00:35:12	表で最大ケースって裸で使ってるんですけど、この最大ケースはさすが に何かこう、注釈かなんかが要るかな。
00:35:21	と思うんですけど。
00:35:23	あれですよね Ss1 を上回る周期において最大になるケース。
00:35:30	じゃないんですかそれとも最大ケースでいいんですか。
00:35:34	はい。北海道電力野尻ですおっしゃるところ表の右端の最大ケースって いうところですねこれについては Ss1 を余るものの中で最大の応答スペ クトルとなるものっていうことなんで、そこは、
00:35:48	注釈を打つなりこの表現を見直すなりしてわかるようにさせていただきます。
00:35:57	あとはですね何か確かにステップ 1 ステップ 2 っていうやってることは 私理解しているつもりなんですただ 12 ページ。
00:36:12	12 ページでステップ 1 でやってることって
00:36:18	39 ケースのうちって書いてるんですけど、
00:36:22	なんかね 39 ケースってもっと先にあるんじゃないか、これ好みの問題 かもしれないですね、ステップ 1 ってもう 39 ケースってすでに決めたも のから、
00:36:31	そっから Ss1 を上回る周期で最大のものをこう選んでるっていうのが、 何かステップ 1 の中で、39 ケースっていうのがここで何か、
00:36:42	出て 39 ページって、39 ケースというのも、もう 1 個前の、要するにス テップ 0 みたいなのところのかなというふうにこう思いながらこのて手 順を見ていくとですね。
00:36:53	そんな気がして言いますけど、その辺はちょっと、
00:36:58	やってることはわかるので、
00:37:01	わかりやすくっていうのであれば、ちょっと出した方がいいのかなって いうふうに思ってます。
00:37:06	あとはねどんどん行きますけど、
00:37:09	27 ページで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:37:14	これただ単に、
00:37:17	事実確認なんですけど、
00:37:20	27 ページで他のなんかサイトとかの資料とかを見ていくと、
00:37:26	鉛直方向は水平の 3 分の 2 を下回らないように設定しましたと、そういった記載があるところもあります。
00:37:35	北海道電力の方としてはこれは 3 分の 2 を下回らないように、
00:37:40	設定しているのか、それとも結果下回ってないのか。
00:37:45	あるひょっとしたら上回ってるところあるのかな。その辺ちょっと事実確認をさしてください。
00:37:55	はい。北海道電力の高須でございます。27 ページ、Ss ワンの鉛直方向ですね、につきましては、基本的には地震動評価結果を下回らないように、Ss 案を鉛直方向も設定してあげていると。
00:38:10	いう形になってございます。結果として水平方向の三分の二を、を下回らないレベルで、現時点では設定をしているという形になっております。
00:38:23	ここは結果的に李でいいんですか。
00:38:27	そもそも 3 分の 2 を、
00:38:29	下回らないように考えて作ったとかでもないんですかというのが何か
00:38:36	特定せずの何か評価用地震動のときとかは、もともとの考えであったんですよね。
00:38:42	そことどういう関係なのかなっていうのも確認しときたくって今言ってるんですけど。
00:38:51	北海道電力野地ですそうですね特定せずの一関東に関しては一般的なとは言わないですけど一般的な水平鉛直の
00:39:02	関係費として三分の二っていうのを当てに行ってるというところで 27 ページの泊の
00:39:08	評価に関してこれもう Noda らの手法を使ってますんで基本的には同じ。
00:39:13	水平と鉛直の関係になると思ってます。ただもともとの思想として、水平は水平の評価結果鉛直は鉛直の評価結果を上回るように Ss1 を設定するっていう、
00:39:24	考えでやってますんで、
00:39:25	それを
00:39:27	設定して水平は水平で設定鉛直鉛直で設定してます。ただ結果として、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:39:32	それが3分の2程度になるということが、表表上というか実際にですね、実態としては結果として3分の2になるように設定してるというのが実際の鉛直の数値にはなってます。
00:39:46	なのでちょっと上回るようにとか下回るようにっていうより3分の2になるように設定してるというのが実態になります。残りは数値の転びありますけどそういう考えであります。
00:39:55	わかりました実際そうなるんだっつらはい。別に付け足すような話でもないかなと思いますので、
00:40:02	わかりました。
00:40:29	はい規制庁佐口ですけど。
00:40:31	私の方も少し、
00:40:34	確認というか教えていただきたいことも含めて確認させていただきたいんですけど、今回記載、変えられたときにこの6ページのところなんですけど、
00:40:44	もう1回ですね、ちょっと細かい
00:40:48	記載のところ、
00:40:51	確認をさしていただきたくて、
00:40:53	6ページの右っかわの今回っていうところ、まず一番上の基本的な考え方は先ほど谷からも幾つか確認ありましたが、この中で施設に影響を与える可能性があるというのが、
00:41:06	多分これ、
00:41:07	私が今資料を見てると下の選定方法のSTEP2の、
00:41:13	検討用地震ごとに、基準地震動Ss1を上回る周期体の3方向で、
00:41:21	地震動レベルが、
00:41:23	大きい。
00:41:24	地震。
00:41:26	というふうに、
00:41:28	読んだんですけどそのまず理解でよろしいですか。
00:41:35	はい。北海道電力の高橋でございます。今佐口さんおっしゃられているのは、右側の表今回のこの基本的な考え方の一つ目の矢羽根。
00:41:46	のお話かなと思っておりますが、規制庁作成、ごめんなさい二つ目の矢羽根の、
00:41:52	施設に影響を与える可能性があるという、
00:41:56	地震動っていうのが何かというのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:42:00	つまり上の、基本的な考え方の、
00:42:04	一つ目の矢羽根っていうのが、その下の選定方法の STEP1 に該当して、また以降に、
00:42:11	要は二つ目の矢羽根が、選定方法の STEP2 に該当するのかなと。
00:42:17	いう資料を見てて、
00:42:20	そういうふうに私はとらえたんですんで、先ほどの、
00:42:26	二つ目の矢羽根ですね、基本的な考え方の二つ目の矢羽根の最後の方に、2行目の最後の施設に影響を与える可能性がある場合というのは、
00:42:37	何かというと、この選定方法の中のステップ2でいうところの検討地震ごとに、基準地震動 $S_s - F1$ を上回る周期体の3方向で地震動レベルが大きい。
00:42:49	地震動っていうものが相当するのかなというふうに資料見てて思ったんですけどその理解でよろしいですかという、
00:42:58	北海道電力の高橋です。すいません。大崎さんおっしゃられる通り、基本的な考え方の一つ目の矢羽根がステップ1、二つ目の矢羽根が、ステップ2という形で展開させてきているという形で
00:43:11	ございます。なので佐口さんおっしゃられた通りの認識でよろしいかと思えます。以上です。
00:43:19	はい。規制庁佐口すいませんちょっと、後半部分はお答えいただけなかったんですけど、ごめんなさいもうもう一度確認なんですけど、その選定方法の STEP2 のところで、
00:43:31	一番最後に、
00:43:34	施設に影響を与える可能性がある地震動として基準地震動に追加で設定とあるので、その前を読めばそういうものが、これに該当するのかなという。
00:43:46	ふうに、
00:43:47	私は読んで、なので、この
00:43:50	施設に影響を与える可能性がある地震動とは、
00:43:54	その上のところにある検討用地震ごとに、基準地震動 S_{s1} を上回る周期体の3方向で地震動レベルが大きい地震と、
00:44:03	これが、
00:44:05	施設に影響を与える可能性がある地震と、
00:44:08	いう。
00:44:09	御社はそういう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:44:15	考え方というのか、
00:44:16	そういうことをおっしゃられているという理解でよろしいのかという、 そういう質問なんですけど。
00:44:23	はい北海道電力の李です。おっしゃる通りで、ステップ2、
00:44:28	基本的な考え方の二つ目とステップ2が対応してましてその中で書いて る施設に影響、
00:44:33	与える可能性があるというところのくだりについてはステップ2の後段 ですね今言われたSs以上上回る推定の3方向で人のレベルが大きい地 震動ということ、
00:44:43	で整理しております。
00:44:46	以上です。はい、技師長佐口ですわかりました。で、その中で少し確認 させていただきたいのは、この3方向で、
00:44:56	ていうのが、実際にはどういうことをおっしゃっているのかというのを もう少し教えてください。
00:45:07	はい。北海道電力の高橋でございます。3方向でというところござい ますけれどもこちらにつきましては、着目する周期体の3方向いずれか で大きいものを
00:45:20	基準地震動としてピックアップしているという形になってございます。 以上です。
00:45:26	はい。規制庁佐口ですわかりました3方向でっていうのはあくまでも3 方向、
00:45:31	をあわせて考えるんじゃなくて、N-SならNSEWならEWdならUD という、一つ、各成分ごとで、
00:45:42	地震動レベルが大きいもの。
00:45:45	というのを、追加で設定とそういう理解でよろしいということですね。
00:45:52	はい。北海道電力の高橋です。おっしゃる通りいずれか、どの、どれか の方向でという形になってる。以上です。
00:46:03	はい。規制調査佐口。わかりました。さらに、その3方向での後にある 地震動レベルが大きい。
00:46:11	という、定義っていうんですかね、これがどういうことを意味されてい るのかっていうのをちょっと教えていただきたいんですけど。なぜかっ ていうと、
00:46:22	今確認をさせていただきましたけどどの、どの、どれかの成分で、どれ かの方向でというふう話でしたけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:46:32	やっぱり一番、追加の話だと、結局どれが追加されてるかっていうと積丹半島西方沖の断層による地震ですね。
00:46:41	これがステップ2では追加されていて、
00:46:46	それ多分後ろの方にあるんですけども、
00:46:49	そうすると、
00:46:51	一番、
00:46:52	わかりやすいの、あと23ページかな。
00:46:56	で、23ページで、この
00:46:58	Ss2の1045、16というのが、
00:47:05	追加でステップ2で追加されました。22ページ23ページですね、その理由というのは先ほどお伺いしましたし22ページでも、一番右の下の箱書きのところに書かれていくと。
00:47:18	で、この地震動レベルが大きくなってやっぱり、
00:47:22	ちょっと漠然とし過ぎていてですね、私、勝手な理解なんですけど、あくまでもこれはステップ1で設定というか選定した。
00:47:33	地震動と比較して、
00:47:35	有意に大きくなる。
00:47:38	ものっていうのはそれは各成分でですね、NSとかEWで、セットステップ1で設定したものより、この着目する周期で、優位で大きく有意に大きくなるものは、
00:47:50	選定をしますよという、ごめんなさい。勝手な理解なんですけど。
00:47:55	それで合ってますそれとも全然違います。
00:47:58	はい。北海道電力野尻です。岩崎さんおっしゃられた通りで
00:48:03	もともとステップ1で選んだものに対して、
00:48:07	まさに
00:48:08	着目する周期というのも一つのポイントですしそれを有意に上回るっていうのをポイントでその二つが合致するところについて、
00:48:16	大きいものがあれば選ぶっていうことになってまして尻別川ですとか、fs中については、ほぼ同じような傾向のものはちょこちょこあるんですけどそれは同じような傾向だと、一方でこの積丹の、
00:48:29	地震動についてはこの長周期側が特にあの傾向が、もともと選んでるものに対して違うという中で、3成分で3方向ですね、を見て選びに行っているということになっております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:48:45	はい、佐口です規制庁佐口そうするとやっぱり 6 ページのこのステップ 2 の書き方っていうのは、
00:48:52	今 3 方向で地震動レベルが大きいというふうに書かれているだけで、そうすると、これ、
00:48:58	読む人によってはこれわずかでも大きかったらこれ選択とか追加するんじゃないのとかっていう、見方をされる可能性もありますので、実態と、
00:49:09	もしこれ、やっぱり今違ってて、あくまでも着目する周期で有意にこの地震動のレベルが大きいもの、これは選定をしますよという話だったら、
00:49:19	ちょっと自体実態に即して、
00:49:22	ここは記載を適正化していただきたいと思います。
00:49:27	はい。北海道電力の李です今、佐口さんおっしゃられたところ重々理解できました。まさにそういうところで、文字にできてないところだと思いますんで優位に。
00:49:37	ちょっと着目する主体っていうところをしっかりとわかるように書きたいと思います。
00:49:43	規制庁の名倉です。
00:49:45	私非常に正直で、
00:49:47	有意になって書いてないから、だからびた一文でもは見れたものは、
00:49:52	採用するもしくは採用しないのであればそれをちゃんと説明しないといけないっていう。
00:49:57	一応そういうふうな見方を、
00:49:59	しましたんでそこところは、説明もちゃんとしているので、どう書くかってのはそちらの裁量かもしれないですけど、
00:50:07	あまりこう幅を持って読まれないようにというか、
00:50:12	そこの裁量判断のところをどういうふうに塩梅を表現するかっていうのはちょっと、
00:50:17	気をつけていただきたいな。
00:50:20	以上です。
00:50:22	はい。北海道電力野末さんのおっしゃる通りだと思いますので我々としての考えですね、をしっかりと当然びた一文ということではなく、優位なところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:50:33	を選ぶということだと思ってますのでそこをしっかりとわかるように整理させていただきます。
00:50:43	はい規制庁佐口です。あとですねちょっと資料の中で
00:50:50	よくわからなかったので、ちょっと確認をしたいんですけど。
00:50:54	妥当性、
00:50:56	確認って、後ろの方にあるんですけど、
00:51:00	84 ページ以降ですねこの積丹半島西方沖の断層って、ごめんなさいもし、私が読みきれてないだけだったら後で、
00:51:10	教えていただきたいんですけど、84 ページって、当然最初のところで着目処理周期大抵御社はこうですよというご説明があって、
00:51:23	当然ながら、積丹半島西方沖の断層っていうのは、二つある。
00:51:29	んですけども、二つというか、0 点。
00:51:34	15 秒後から 0.3 秒のところと、それから 1.5 秒から、
00:51:39	3 秒ぐらいのところですか。
00:51:41	なんですけど、85 ページ目以降って、これ着目消臭期待って短周期だけなんですけどこれ、
00:51:48	なんで長周期とか、
00:51:50	特に確認しなくて、短周期だけ書かれているのかがちょっとよくわからないんですけど教えてください。
00:52:07	北海道電力の高瀬でございます。85 ページ目以降、妥当性確認につきまして、85 ページにつきましては、着目する周期として短周期側のみ記載はしてございますけれども、
00:52:21	それに合わせて長周期側もあわせては確認はしているという形になってございます。ただし、A を見ていただくとわかりますように長周期側につきましては、すでに優位に、
00:52:32	エスワン失礼します S2-8 ですね、頭が大きくなってるということから、あえてここについては記載をしていないという形にはなってございます。以上でございます。
00:52:47	はい。規制庁佐口です。例えば、85 ページはそうでもいいかもしれないんですけど、87 ページとか、
00:52:55	それっていえるんですか、っていうのがあってですね。
00:52:59	で、そういった観点で、もしちゃんと、
00:53:04	長周期側も確認された上で、こういうことを言っているんだったらやはり、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:53:10	着目する周期体っていうのはもう御社がアアア積丹半島清大木については、間に2ヶ所というか二つの周期体を設けているので、
00:53:20	そこはきちんとですねわかるように、記載をしていただきたいと思います。
00:53:27	はい北海道電力野尻です。そうですね積丹のところは、0度層厚0とそこに重度のところの比較のときにはちょっと端子側だけで調子が3成分Ss1を下回ってるということが
00:53:40	明確というかわかったのでそこをあえて文章として書いてないということなんですけど今おっしゃられたように、着目する周期としては積丹半島北西沖の断層による地震として決めて、
00:53:52	いるものになりますんで、この長周期を見た上で、3方向ともSs1をしっかり下回ってるというところで整理をするということを、書かせていただきたいと思います。
00:54:07	ですね87ページで多分今谷さんそれ例えばEWが逆転してんじゃないかかっていうことだと思うんですけど、これ着目する周期体ではあるんですけど、とはいえ中で3方向ともにSs1を下回っているものを、
00:54:22	の議論になっていきますんでそうすると施設影響としては当然Ss1の影響を下回るということになりますんで、ちょっと1でまた新たなイレギュラーな書き方にはちょっとなっちゃうかもしれないんですけどそこを書くんであればそういうことで施設影響として
00:54:37	入れなければならないというものにはならないと思ってますんで、
00:54:40	そこはわかるように整理させていただきます。
00:54:46	はい。擬制調査内ですんで、これはあくまでももう、
00:54:51	正直言って、どうでもいいのかもしれないんですけどやはり各地震のまとめじゃないんですけどそういう部分例えば尻別方66ページですよね。
00:55:01	これ
00:55:03	ごめんなさいお願いになるかもしれないんですけど、着目集荷その周期体がどこだか、どこなのかっていうのが、一応はわかるような形で、こういった最後のところは、
00:55:15	入れていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
00:55:19	はい。失礼しました。他の尻別で言うと66とかそれぞれのやつですね。最後のまとめのところにも着目する主体どこだったのか図示するようにします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:55:40	規制庁の名倉です。
00:55:42	今日資料見てということじゃなくて資料の説明を聞いて、
00:55:47	うんって思ったところをちょっと聞きます。
00:55:51	73 ページ。
00:55:57	これ
00:55:58	着目する周期体で一部、
00:56:01	スペクトルということでは、下清掃を超えているところがあるものに対しての説明として例示したページです。
00:56:10	ここのですね、説明を聞いていって、
00:56:14	ちょっと確認なんですけれども、二つ目の丸印の、
00:56:18	2行目から3行目のところ、
00:56:21	着目する周期の地震動レベルは Ss2-3の方が大きくなっている。
00:56:27	と言ってるのは、
00:56:29	当然 NS 方向ですけれども、
00:56:31	これはピークの高さについては、Ss2-3の方が大きい。
00:56:37	と言っているのが最初の Ss2-3の方が大きいと言ってるっていうことの意味ですね。
00:56:45	というふうに解釈したんですけどちょっと、そのあとの着目する周期体で最大の応答スペクトル案となる地震動ではないと。
00:56:53	いうところこれについては、
00:56:56	これ、
00:56:57	表現が、
00:56:59	非常にわかりにくい。
00:57:04	前 SAS の中で、
00:57:07	ということですね。
00:57:09	うん。なんかそこら辺が、何て言うのかな、何、どういう観点で見たときに、相対的にどうなのか。
00:57:18	というところが、講師読んだだけで、ちょっと頭に入ってこなくて実はこれってすごく幅広い幅が広くて、
00:57:27	特定しきれていないんだけど説明の時はこのところは、
00:57:31	補ってたんですね。
00:57:32	ここんところがちょっと痒いところに手が届いてないなっていう気がちょっとしましたんでこういうところちょっとよくチェックしていただけますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:40	はい。北海道電力野尻です。そうですね 73 ページの今言われた後段の着目する周期で最大っていうのは全体の中で最大のチャンピオンじゃないということなんですが、何。
00:57:51	に対してというか何かっていうところがちょっと抜けてますんでそこはちょっと文字で、
00:57:55	入れさせていただきますそれと、
00:57:58	今の言われた、ここで言うと N-S 方向での一部で設備予算より大きくなっているっていうところが、コンマリッターじゃ 1 秒 2 秒から 3 秒の間ぐらい。
00:58:09	テックの方がちょっと大きいというところを表現してますそれから、着目する周期点の地震動レベルは新野さんの方が大きくなっていると言っている。
00:58:19	所の心としてはこの着目する周期体。
00:58:23	を見たときに、全体ですね、を見たときに、青の方が、幅の平均的なレベルとして大きいという意味で今、
00:58:33	使っているというものでございます。
00:58:38	規制庁の名倉です。
00:58:40	これ私の解釈は、
00:58:42	Ss2-3、この青い方がピークレベルが高いっていうことを言ってるんじゃないですか。
00:58:48	は、会期の幅で見たときには超えているものはあるんですけども、
00:58:53	PEEK レベルからすると、
00:58:56	青いほうが大きいので、
00:58:58	ててことだと思ったんですけどちょっと微妙ですね。はい。すみません我々資料作ってる中ではどちらかてこん 1 分 2 秒 3 秒、3 点。
00:59:09	数秒から 5 秒までのところがの方が優勢。
00:59:14	だというところで、これをもって一応、
00:59:17	青の方が、
00:59:19	バンドの中では大きいだろう、大きいという判断でちょっと書かせていただいててちょっとピークを見て、図のポイントを見てると言うよりはちょっと幅野。
00:59:28	レベルとして見たっていうところになってます。
00:59:31	規制庁の名倉です。
00:59:33	私は衛藤。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:59:36	EW と UD 方向について、これは明らかにレベルと他駅が広い。
00:59:42	だから包絡関係にあって、これは一つ目の丸で読みました。
00:59:46	二つ目は、二つ目の丸は NS 方向のみの話をしている、
00:59:52	海域の幅って意味ではピークの幅ってのは同じぐらいなんだけど、ちょっと横ずれしていて正しい縦方向の高さを見ると、
01:00:01	なんでこれ青の方が優勢かっていうとピークレベルが高いから、だから大気は同じぐらいの幅なんだけど、優勢なんですね。
01:00:10	うん。だからちょっとそこら辺がですね。うん。もうちょっと何かこう、
01:00:16	しっかり説明した方がいいような気がちょっと強いましたけど、それも私の独特の解釈なのかもしれないけれど、
01:00:24	うん。ちょっと何かここら辺を明確に何か説明するような、伊佐清さとかそういうのがちょっと必要かなっていう気はちょっとしました。はい。なんかいいにくいなと思ってるところをどういうふうに生きるかっていうところ。
01:00:38	ですかね、ちょっとこう工夫が必要かなと思いました。はい。北海道電力野尻ですはい、わかりました。
01:00:44	幅、ある程度の周期体着目する周期性の幅等、
01:00:49	今言われたピークレベルっていうところと両方の観点で判断しているところになると思いますので、
01:00:57	そこをわかるようにちょっと文字として書くと、非常に長くなりますのでそこは文字で書ける範囲を書きますしあと表んことで説明する中で整理できればそこは整理して説明させていただきます。
01:01:14	谷です。さっきさっきの説明私聞き間違ったかもしれないですけど 75 ページですかねこれ着目その周期体で最大の応答スペクトルとなる地震動ではないっていう。
01:01:26	この対象は何かっていうところの、
01:01:29	fs 中の検討用地震。
01:01:32	この中での話じゃないんですか。さっき、さっき僕聞き間違ったかもしれないけど全体でって言っていったのは、
01:01:40	他の北海道電力の自立全体でも当然チャンピオンで選ばれたの今回のプロセスでいうとステップ 1 というところで少なくとも選ばれてないのでチャンピオンじゃないっていうことをすると、もう一つ
01:01:53	ちょっとそこは説明してませんが fs 中からの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:01:56	検討用地震として見た時でもチャンピオンになってないっていう両方ありますはい。
01:02:14	73 ページも同じですよ。
01:02:18	うんそうですね。
01:02:19	どちらもですねこの着目する周期で最大の応答スペクトルとなる地震動ではないと書いてるものに関しては、まず全体のチャンピオンでは当然ないですさらに検討用地震ごとの中でもチャンピオンになるものではないっていうところで書いてます。
01:02:33	はい。確認できました。ただそれがちょっと見えるようになった方がいいかなというのは私も思います。
01:02:41	あとはね、54 ページね。これさっきあのさ、佐口さんが言ったことによって解消するんだろうなと思ったんですけど。
01:02:49	ただこの二つ目の丸の時に説明してた時には、
01:02:55	一部で大きくなっているものの、
01:02:58	全体としてはとかいう言い方をされたかな。で、これ多分今の今の文章だけでいうと一部で大きくなっているものを着目する周期体の地震動レベル S2-1 の大きくなっている。
01:03:11	ていうこの辺のね何か書き方がねあんまりこう言いたいことが伝わってこないんですね。それ全体のレベル感としてはこちらの方が大きいんですっていう。
01:03:21	言葉で説明を受けたときには、そういうことを書いてんだってわかりましたけど、
01:03:26	多分、文章を読むと、って思ってしまうんで、それは多分、さっきの
01:03:33	優位に結構なってないっていう古藤の説明だけでひょっとしたら、
01:03:38	もう言いたいことが入ってくるのかもしれないんですけどちょっとこの辺の、言いたいことが伝わるようにして欲しいなっていうのは感じました。
01:03:49	はい。北海道電力の辻です。はい。多少やっぱり説明不足になってるところがあると思いますので今おっしゃられたように着目する周期の地震動レベルって言った時に、どこを見てんのか。
01:04:01	どういうもので判断してるのかっていう辺りがちょっとわかりづらくなってますんでそこは、
01:04:06	可能な限り明確にさせていただきます。
01:04:26	はい規制庁佐口です。先ほど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:04:29	同じようなことも、もう1回聞きますけど、74ページとか75ページ73ページなんですけど、この着目する周期体で最大の応答スペクトルとなるというですね、
01:04:43	この記載で、
01:04:46	全部一緒にいいのか、それとも実は書き分けなきゃいけないのかっていうのを教えていただきたいんですね。というのは、
01:04:55	あくまでもこれ着目II周期体で、その全体を見てっていうその話もありましたし、
01:05:03	あとは、
01:05:04	Ss1を上回る部分においてという修飾語が何か、
01:05:11	つくのかな。
01:05:12	つくものと、使う使わないものがあったりするのかなとかいろいろ多分あると思いますので、ちょっとここ、性格的ななんか細かく分ける必要は、
01:05:23	ないかもしれないんですけど、むしろ1、1つで終わってしまうかもしれないんですけどちょっと正確に書いていただきたいと思いますはい。北海道電力野尻です。そうですね734号で書いている。
01:05:34	着目する周期で最大の音スペクトルとなる地震動ではないというのは、着目する周期体のSs1を上回る部分で、最大にはならないっていうことになってますんで下回ってるところの議論をしてないんでそこ
01:05:48	わかるようにはっきり書かせていただきます。以上です。
01:06:25	はい谷です。一応これ最短で来週会合ということで、北海道電力のご希望もちゃんと合ってればですけど、
01:06:35	したいと思ってるんですけど北海道電力からは何か最後、確認しておきたいこととかありますか。
01:06:53	すいません1点だけ今日確認させていただいて江藤谷さんからご指摘があった。
01:07:03	7ページのところですかね、7ページの
01:07:07	前回入れていて今回落としましたもの。
01:07:10	に対しての、
01:07:12	藤スペクトルII。
01:07:14	例えばFS10から岩内堆南方背斜の地震の応力降下量の破壊開始点一番について今回のSsにしている5本との関係っていうのはあのよう書いている資料上は今入っていないんですけどそこは絵として1枚。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:07:29	ちょっと概要がいいのか中で入れるのがいいのか何かも含めてセットで入れて、示した方がそこをはっきりさせたほうがいいということによろしいですかね。
01:07:40	谷です。お任せしますけれども、ちょっとここはだから、私の方としては、さっき調整官名ぐらいいましたようにここは何で外れたのかがちゃんとわかるような、
01:07:52	説明をして欲しいってその中には、そういったAを入れるのもありますし、どういった考えが変わってるのか、その考えは問題ないのかっていうのが説明。
01:08:05	してください。医師説明がいまいちこの文章だけを見てても、
01:08:12	何か曖昧な感じがする。
01:08:14	なんていう、そんなこと言ってるので、
01:08:18	はい、北海道電力野末です。そうしますとやはりそういう説明我々もしていくとなるとスペクトルの図がないとちょっと文字面では理解しづらいところありますんでその絵をどっかに、
01:08:28	1枚。
01:08:28	はい。はい。入れるようにします。はい。
01:09:03	はい。
01:09:06	そうすると、
01:09:09	北海道電力の高橋でございます。先ほどのスペクトル図のお話でしたけれども、今、イメージとして考えているのは、連動断層で言いますと、Ssにした5本、
01:09:21	ですね、それと、前回会合でSsとしていて、今回Sとしていなかったものこれ、こちらを重ねたもので対比関係を見ると、
01:09:31	いうところを1枚、さらに合わせるという形になりますけれども尻別川についても、前回会合の青線ですね、青線と赤線比較したものを、
01:09:42	新たにすでに、
01:09:44	妥当性確認のところで、当初ありますけれども、改めて入れさせていただいて説明を、を追加させていただくという形で、資料の方まとめたいと思います。
01:09:54	でよろしかったでしょうかねそんなイメージでよろしいでしょうか。
01:09:58	よろしかったと、よろしいかって聞かれるとそれは北海道電力の考えで作ってくださいということです。
01:10:06	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:10:08	はい、承知しました。そのように、資料の方、わかりやすく作る、修正の方をしたいと思います。以上です。
01:10:24	はい。規制庁谷です。それでは今日のヒアリングあります。どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。